

広島市民が描いた

# 原爆の絵 展

展示 2008年8月11日(月) - 15日(金)

あきる野市役所 コミュニティホール

◎15日はPM4時に終了◎

主催・原水爆禁止あきる野協議会  
後援・あきる野市教育委員会

あきる野原水協は、1993年から毎年、広島と長崎に原爆が落とされた8月に、「原爆の絵」の展示をしてきました。

これらの絵は、今から63年前、人類初の原子爆弾に被爆した、広島市民の痛苦の記憶から描かれたものです。被爆者の脳裏に焼きついた光景が生々しく私たちに迫ってきます。

いま、この地球上に27,000発もの核兵器が貯蔵、配備されています。人類は、絶滅の淵にあると言ってけっして過言ではありません。

世界は、いまのこの瞬間にも戦火が絶えず、広島・長崎の惨劇が再び繰り返されないという保障はどこにもありません。

「私たちが受けた原爆の被害を知って欲しい。核兵器は止めて欲しい」との被爆者の崇高な願いを、多く方にご観照頂きたいと思います。

